

3 数値目標

番号	項目	現状値	目標値	備考【現状値の出典】
A	1 【指標】業務継続計画(BCP)に基づき、被災した状況を想定した訓練を実施した病院数	6病院	10病院 (全病院)	災害拠点病院現況調査(医療業務課)
	2 【指標】DMAT養成研修受講者数	14人/年	16人/年 (4人4回)	医療業務課調査
	3 【指標】広域災害・救急医療情報システム(EMIS)への登録率	98.9%	100%	医療業務課調査
	4 【指標】EMISの操作を含む研修及び訓練の実施回数	2回/年	12回/年	EMIS入力訓練・操作研修参加状況 (医療業務課)
	5 【指標】業務継続計画(BCP)策定研修に参加した病院数	8病院/年	10病院/年	医療業務課調査
	6 【指標】保健所管轄区域等で地域災害医療対策協議会のコーディネート機能の確認を行う災害訓練の実施回数	5回/年	6回/年 (各保健所で1回)	青森県保健医療計画に基づく災害医療対策 の取組状況に関する調査 (医療業務課)
	7 【指標】県災害医療コーディネート研修実施回数	1回/年	1回/年	医療業務課調査
	8 【指標】関係機関との訓練等の実施回数 (県総合防災訓練、災害対策図上訓練、健康福祉部図上訓練等)	1回/年	3回/年	医療業務課調査
	9 【指標】広域医療搬送を想定した訓練(SCUを設置する訓練等)実施回数	1回/年	2回/年	医療業務課調査
B	1 同A-1:【指標】業務継続計画(BCP)に基づき、被災した状況を想定した訓練を実施した病院数	6病院/年	10病院/年	災害拠点病院現況調査(医療業務課)
	2 【指標】DMATチーム数	24チーム	28チーム	医療業務課調査
	3 【指標】EMISの操作訓練での入力率	83.3%	100%	医療業務課調査
	4 【指標】災害時に拠点となる病院以外の病院のBCP策定数	29.9%	100%	医療業務課調査
	5 【指標】保健所管轄区域等で地域災害医療対策協議会のコーディネート機能の確認を行う災害訓練の参加機関数(令和5年度地域災害医療対策協議会総機関数:127)	0%	100%/3年	青森県保健医療計画に基づく災害医療対策 の取組状況に関する調査 (医療業務課)
	6 【指標】関係機関との訓練等の参加機関数	74機関	149機関	医療業務課調査
C	1 【指標】初期アウトカムの達成率		6/6	
	2 【指標】病院の災害発生時におけるEMISモード切替後3時間以内のEMIS入力率		80%	

4 医療連携体制の圏域

大規模災害時には、二次保健医療圏をはるかに超えた対応が必要となることから、医療連携体制の圏域は、従来どおり県全体を1圏域とします。

なお、地域での活動に当たっては、二次保健医療圏単位で、地域災害拠点病院や地域災害医療対策協議会等の体制構築を行っています。

青森県 災害拠点病院・DMAT指定病院
配置図(令和5年4月現在)

